

HSK

なんれん

七がち

No. 1

昭和48年1月13日

第三種郵便物認可

HSK通巻第219号

1990年7月10日発行

毎月10日発行(1部100円)

編集 財団法人 北海道難病連
十勝支部

発行 北海道身体障害者団体
定期刊行物協会(HSK)



— もくじ —

- 事務局変りました
- 音更支部準備会より
- 地域で自主的な患者会作りを
- 十勝支部行事予定
- 役員紹介
- 財政活動の協力について
- ご寄付、その他お知らせ
- 各部会地区代表者名簿
- 決算報告
- その他

〇〇〇 十勝支部事務局が
変わりました 〇〇〇

新事務局

〒080 帯広市西5条南23丁目

電話 (0155) 25-5271

事務局長 渡辺祐子 (こばと会)

支部の役員になって、3年目ですが、今回事務局長をやることになりました。

ダウン症の小学2年の女の子をもつ親です。あまり難連の事もわかりませんが、いろいろと勉強して、みなさんに御迷惑にならないようにがんばりたいと思います。

どうぞよろしくお願いします。

(渡辺)

＝音更支部準備会より＝

いままで、お世話になっていた、北海道難病連十勝支部より離れ、音更支部結成のため努力中です。

組織の拡大とともに、末端、底辺まで、今の届かないとこ

るが多くみうけられますので、今後、より一層、組織の強化に務め、内容の充実をはかりたいと存じます。

長い間のご協力に感謝するとともに、なお一層のご指導、ご協力をお願いします。

又、多数の御加入をおまちしています。

(音更支部準備会支部長 菅原貞助)

● 前事務局長より

役員として在任中は、無力で迷惑の掛けどうしの私を何とかと励まし御協力を頂きました役員の皆さんはじめ、多くの方々には心より御礼申し上げます。

新体制となった十勝支部に、会員各関係者の皆様のより一層の御協力で、ご支援をよろしくお願い致します

(音更支部準備会事務局長 穀内さかえ)

現在は音更支部準備会での、患者会活動を続けられております。全道集会で大変お世話になりました音更町での患者会活動が、よりすばらしいものになりますよう、又、これからもいろいろと御指導いただきながら十勝支部も、小さなあかりをともし続けたいと思います。

どうぞ、今後とも、音更支部準備会、十勝支部ともによりしくお願いいたします。

地域で自主的な患者会作りを

支部長 江口美生男

昨年は十勝で全道集会が行なわれ、地域での難病連の存在を大きくアピールされたところですが、それを機に、町村あるいは保健所管内を単位とする患者の集まりが活発になりつつあります。

患者同志が情報交換することは患者自身の当然の要求であり、それが又患者運動のエネルギーの源になると思います。

そして、そのエネルギーが地域社会を変えていくものであると思います。

そこで考えなければならないのは、運動していくうえで大切なことは、患者自身の会であり、自分達が自主的に運営していかなければならないということです。

会を作るのに急ぎすぎて患者以外にたよって運営していくのは良くないことだと思います。

そういう意味で、あわてず、ゆっくりと一步一步前進していこうではありませんか。

会を運営している役員も皆大変な思いで活動しているのですから

……。

—— 十勝支部 行事計画 ——

6月		花火販売	
7月	「とがち」の発行	↓	
8月			
9月	合同レクリエーション		
10月	難病検診・相談会 (10/7(日) 広尾)	×飾り販売	JPC街頭署名運動 (署名・募金)
11月	腎登録キャンペーン	↓	↓
12月	ふれあい広場 (12/9(日) グリーンプラザ)		
1月			
2月	「とがち」の発行		
3月			

❁ 皆様のおたくで不用な品物 ありませんか？

12/9(日)のバザー参加に向けて、古本・古着 etc....

何でも結構です。 御寄附 願います。

詳しくは、十勝支部・事務局までお問い合わせ下さい。

＝平成2年度役員＝

《支部長》

どういうわけか、又、支部長になってしまいました。私自身仕事を持っていて、ここ1～2年大変忙しい中で、あえぎながら務めさせていただきました。全く不十分なことしか出来ず期待を裏切るばかりでした。しかし他の役員の方々に助けられ、どうにか小さい灯を消さずにここまでやってこられました。この小さな灯が今後大きな灯にすることが出来るか全く自身はありませんが、又他の役員の方々に助けられながら一年間続けることになりました。どうかよろしくお願いいたします。

江口美生男(肝炎)

《副支部長》

何の取柄もありませんが一年向よろしくお願いいたします。

藤田浩子(膠原病)

《事務局長》

我家の三女は小学校の二年、多少太り気味の体ですが病院へ行く回数も減り又、毎朝給食のメニューをたのしみに元気に学校に通っています。今は学校での出来事をきくことが親子のたのしいひとときです。

渡辺祐子(こばと会)家族

《会計》

会計を担当して3年目になりますがまだまだ何もわからないですが一生懸命やりたいと思います。みなさんの足を引っ張るかも知れませんがよろしくお願いします。

加藤富江(二分脊椎)家族

《会計監査》

十勝管内のパーキンソン友の会の菅原です。みなさん臆することなく、友に手をとりあつてのこされた人生を大事に生きぬこうではありませんか。

菅原貞助(パーキンソン)

私が透析をはじめてから、8年が過ぎました。透析患者がこうして透析を受け、生き働けるのは透析療法の進歩だと思えます。それに先輩患者さんたちが国などに様々な運動を

してくれただおかげで、今の透析療法があるので、この労勞をわす
れてはならないと思う。

先輩たちが切り開いた道を後退させないよう強く結集しよう。
宮城金一(腎友会)

《事務局員》

十勝支部のお手伝いをさせていただいて、やっと3年目になり
ますヒョッコ^コです。暢気な性格なので集まりには、いつもい
つも遅刻魔の私..... 皆さんに御迷惑をかけています。

小野廣政子(筋無力症)

動ける時間を大切に使う事、離れすぎず近づきすぎない事、そ
して少しでも自分に満足できる難病連の活動ができたらと思っ
ています。

荒尾みや子(膠原病)

《運営委員》

細く長〜く今年もよろしく!!

竹内淑子(心臓病)

今年また役員になりました。心臓病の娘と一緒に無利せずマイ
ペースでいきたいと思ひます。これからもよろしくお願ひします。
浅水恵美子(心臓病)家族

よろしくお願ひ致します。みんなと和気あいあいでお話し合いな
がら... 病氣と戦いがんばっていききたいと思ひます。

成田愛子(あすなろ会)

30年前左肋骨切除、10年前よりリウマチで体が不自由になり良
いところがありませんが60才になった本年新しいスタートとして
頑張りたいたと思ひますので宜しくお願ひします。

佐々木志ず糸(リウマチ)

ベーチェットに加え、メニエル病が増えてしまいました。体調
はおもわしくありませんが役員として頑張りたいたと思ひます。

田井良江(ベーチェット)

(代筆にて)「ポーッという発信音が....」また今日も留守番電話の村
中さん。どこにいるんだーい。忙しい毎日ですが今年もよろしく。

村中仁志(脊髄小脳変性症)家族

いろいろな事があり、体の具合も良くありませんがこれからも
どうぞよろしくお願ひいたします。

新倉義太郎(腎友会)

今、私達にできること

第16回全道集会を、この十勝で開催させていただいてから、はや一年、本当にことばでは言い現せないほど、この十勝に、偉大な物を残していただけたと思います。

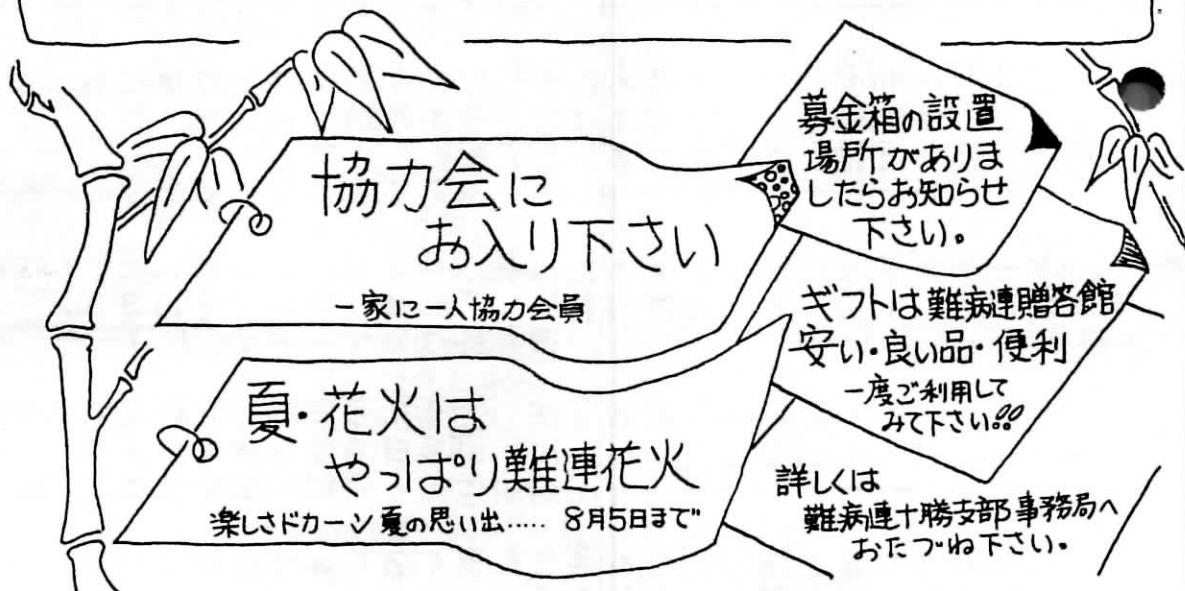
明るくがんばっていらっしやるたくさんの方々にお会いできた事もどんなにすばらしい薬よりも良薬になりました。

困難と戦っている人達がこんなにいますよ!! という事を地域に知らせる大きなきっかけともなりました。

今度は、その事をこの広い十勝のすみずみまで浸透させていくことが、十勝に住む私達の役目のように思います。

困難をかかえる私達にしかできない大きな活動だと思えます。

そんな、私達にできる活動の一つとして、部会、支部の活動資金作りがあります。どうぞ皆様のご協力をお願いいたします。



1989年度 十勝支部 決算報告

収 入		支 出	
支部運営助成金	170,000	支部役員会	7,500
寄付金収入	55,173	全道集会参加費助成金	559,243
協力会還元金収入	68,500	機関紙・読費	15,821
募金箱還元金収入	6,401	研修会	85,484
署名募金還元金収入	8,626	以交流会費	6,990
販売事業収入	78,900	地域部会援助費	11,164
その他(全道集会協賛公啓)	630,310	活動費	5,000
受取利息収入	411	事務消耗品費	26,215
		通信費	39,275
		雑費	2,420
		積立金支出	200,000
前期繰越金	50,913	次期繰越金	110,122
	1,069,234		1,069,234

上記の件について、厳正なる監査の結果適正であることを
報告いたします。

1990年 5月 24日

支部会計監査

氏名 菅原 貞旦カ



※ 活動報告は決算報告のみにて省略いたします。

(○印は十勝に支部のあるところ)

部会名・病名	氏名	住所	電話番号
○ 肝 炎	江口美生男		
○ 膠 原 病	山本和子		
○ 心 臓 病	竹内淑子		
	浅水恵美子		
○ 腎 友 会	新倉義太郎		
○ てんかん協会	奈良岡悦司		
○ ベーチェット病	穀内さかえ		
○ リウマチ	佐々木志ずゑ		
○ 二分脊椎症	加藤十三雄		
○ 小 鳩 会	小林真奈美		
パーキンソン病	菅原貞助		
筋無力症	小野関政子		
後縦靭帯骨化症	竹川照雄		
脊髄小脳変性症	村中仁志		
あすなる会	成田愛子		

本材料(巻き寿司本分)

○スズメシ(白) テマリょう
○紅しょうがをまぜたスズメシ(赤)

○のり

■ 4枚
■ 本切り1枚
■ 1/6切り1枚

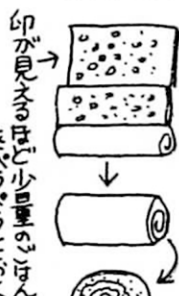
○うすやき印

2枚
(おまめに味つけ)

○野沢菜つけ

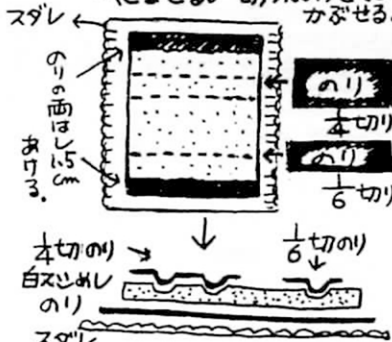
(のりの横のほうに切る)
3本

① うすやき印2枚に
赤いスズメシを少量
まぜ、フルフルまく



バラの花の部
分のでき上り

② のり1枚を縦におき、面はし
1.5cmほどのこし。白スズメシ
をまぜ、点線の部分を
へこませる。切ったのりをそへ
かぶせる。



③ 3本のみぞの部分に野沢菜
を1本づつ入れる

④ まんなかあたりに、6pのバラの花
をドントのせる。



⑤ スズメシの両面を
持ち、のりのし
を合せるように持ち
上げる。



⑦ のり1枚を
おし、ギョウ
ヒスダレで
しめる。

突然ですが、アツと驚く、バラの巻き寿司です

⑩ 編集後記 ⑩

記念すべき第1号「とかち」の完成でホッ。としています。
今回は報告が多くなりましたが、次号は皆さんのいろいろな声を載せたいと思います。

(Miyako)
(Masako)

HSK なんれんとかち No.1

編集人/財団法人北海道難病連 事務局長 伊藤 たてお
札幌市中央区南4条西10丁目 ☎011-512-3233
道十勝支部
江口 美生男 ☎0155-62-4705

昭和48年1月31日第三種郵便物認可
1990年7月10日発行 HSK 通巻219号(毎月1回10日発行)
発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会 神原 義郎
札幌市東区北8条東1丁目